

平成29年度実績に係る部局評価書

部局名: 高等司法研究科

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
A	B	A

【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラムにおいて「パブリック法曹プログラム」が3年連続で優れた取組として評価されたことが評価できる。 また、法学部で導入された早期卒業制度についての学修支援や、公共部門でのインターンシップおよび女性法曹の増加に向けた取組は評価できるものの、司法試験短答式試験に特化したe-learningシステム開発に係る計画が達成できていないことが認められる。
【研究】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【社会貢献】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。

【評価区分2: 「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

【評価コメント】
 常勤教員一人あたりの論文数について、高い水準を維持しており、大学実績に貢献していることが認められる。
 評価区分2評定はBではあるが、専門職大学院という組織の特性上、実績を向上させることが困難な指標が多いことは理解している。